



平成25年12月25日

各 位

会 社 名 Oak キャピタル株式会社  
代表者名 代表取締役会長兼CEO 竹井 博康  
(コード番号3113 東証第二部)  
問合せ先 IR担当シニアマネージャー  
小玉 誠一  
(TEL. 03-5412-7700)

## 株式会社大泉製作所（東証EM 6618）に向けた成長支援投資実行のお知らせ

当社はこのたび、株式会社大泉製作所（以下「大泉製作所」）の成長支援を目的とした総額2.9億円のエクイティファイナンスの引受けを決定いたしましたので、その概要に関し下記の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1. 大泉製作所への成長支援投資

- (1) 生産拠点（タイの新工場の開設）の拡大戦略を支援
  - ・同社の主力製品である温度センサーの主要顧客は自動車部品メーカーや空調・家電メーカーであり、これら主要顧客の生産拠点向けに日本・中国・タイ（新工場）の3生産工場から供給体制を確立
- (2) アセアン諸国の成長市場で事業拡大
  - ・アセアン諸国は自動車・家電製品など急激な需要拡大に伴い、同社製品の需給市場が大きく見込まれる
  - ・欧米の自動車メーカー向け供給が拡大する
- (3) 成長事業分野へ進出を図る
  - ・50有余年にわたる、半導体セラミック技術をはじめとする各種温度センサー技術を活かし、産業用ロボット・医療分野などの成長分野で同社の技術を活かす

#### 2. 大泉製作所への投資総額2.9億円の内訳

転換社債型新株予約権付社債の引受け：1億円  
新株予約権の引受け：1.9億円（権利行使による払込み予定総額）  
合 計：2.9億円

#### 3. 大泉製作所の概要（平成25年9月30日現在）

- (1) 商 号：株式会社大泉製作所（東証マザーズ 6618）
- (2) 代 表 者：代表取締役社長 久保田 達夫
- (3) 所 在 地：埼玉県狭山市新狭山一丁目11番4号
- (4) 設 立：昭和19年（1944年）3月
- (5) 事 業 内 容：温度センサー、電子部品等の製造販売
- (6) 決 算 期：3月
- (7) 従 業 員 数：1,692名（連結）（平成25年3月31日現在）
- (8) 資 本 金：5億91百万円
- (9) 発行済株式総数：5,677,000株
- (10) 株 主 構 成：アジア リカバリー ファンド エルピー 24.42%、ダブリュエルアール リカバリー  
ファンド ツー エルピー 14.76%、タイヨーパールファンドエルピー 10.04% 他
- (11) U R L：<http://www.ohizumi-mfg.jp/>

#### 4. 投資実行の予定日

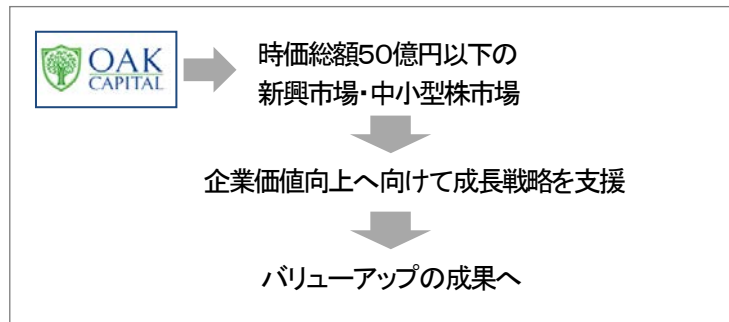
払込期日：平成26年1月15日

## 5. 本投資の方針

当社は日本企業が持つ高度な技術力を新たな分野で活かす成長戦略の支援を致します。先に投資を決定しましたウインテスト株式会社（東証M6721）も同様に最新技術力を有しております。当社はこうした企業の経営戦略や事業のイノベーションを後押しすることで、当社のバリュー投資の成果につながると考えております。

## 6. 新興市場、中小型株市場に向けた成長支援

当社は国内外の企業向けに資金調達及び成長戦略の支援を実施してまいりました。本年度は活発な株式市場の動きを捉え、上場企業向け成長支援投資（エクイティファイナンスの引受け）を拡大する方針で取り組んでおります。また、時価総額50億円以下の企業に向けた成長戦略のための資金調達支援を実施することにより、株式市場の更なる活性化と日本経済の本格的復活に寄与できると考えております。



### ・投資対象分野

スマートフォンコンテンツ、インターネット関連、情報通信、メディカル、不動産、ロボット

### ・主な投資先

セーラー万年筆（東証2部 7992）、フライトホールディングス（東証M3753）

ソフトフロント（東証JQG 2321）、ナノ・メディア（東証M3783 ※平成25年5月上場廃止）

KL a b（東証1部 3656）、アクロディア（東証M 3823）、ウインテスト（東証M 6721）

デジタルポスト、軽井沢エフエム放送、クリストフルジャパン（フランス製銀食器の世界的ブランド）、山田平安堂（宮内庁御用達の漆器の名門）

## 7. 今期の主な投資の実績成果

### フライトホールディングス（東証M3753）

再生投資：新規事業の計画達成で業績は増収増益となり、時価総額は年初9億円から11月25日には時価総額300億円に拡大するなどV字回復を果たす。

### ナノ・メディア（東証M3783※平成25年5月上場廃止）

再生を目的に買収を実施後、役職員によるMBO

### セーラー万年筆（東証2部 7992）

景気回復に伴い文具事業、産業用ロボット事業の回復がみられる。

### ソフトフロント（東証JQG 2321）

積極的なイノベーションを実施中

## 8. 今後の業績に与える影響

今後の業績に与える影響は、当社の事業特性上、株式市場の変動要因によって影響があり、合理的な業績予想の算定が困難であることから、予想の算定が可能となりました段階で速やかに開示を行う予定であります。

以 上